

新資本主義って何かな？強きを助けて弱きをくじく本質は変えられないでしょう!?



Life Crossing

【乱れ打ちかわら版】あらため／季刊（創刊2001年）

2021年冬・67号

信条・世に媚びず・粋にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進
携帯 090-3168-1063
FAX 072-863-0605
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>
E-mail : info@kawaraban.ne.jp



秋色の季節。四季の移ろいを愛でる心が句や歌を生んできた。秋には秋色が相応しい。木々に紅葉が訪れ、自然と人との調和が、人の心を和ませる（美濃市梅山）

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

「新しい資本主義」って何んや 野党の下手な選挙戦術(上)	吉田 進… 2
敵の土俵で相撲をとる愚かさ	三田 栄考… 3
独首相 アンジェラ・メルケル	後藤 昌三… 4
シンガポールのコロナ事情	シンガポール在住 しんちゃん… 5
闘い続ける 衆議院選挙を終えて 東京15区(江東区)で惜敗した野党共闘	元候補者 井戸 まさえ… 6
金持ち国による勝ち組の為の 国威発揚のオリンピックを改革をしたい	原野 通有… 7
憲法と改憲を考えるシリーズ⑮ 鈴木義男と生存権——「生存権」誕生の舞台(上)	
1946: 社会党議員らの奮闘の軌跡	社会事業史学会会員 清水 まり子… 8 / 9
中途障がい者の車椅子生活	近 正美… 10
恭子の日記⑳「一切は空」	画柳会代表 中田 恭子… 11

総選挙でも各党が ベーシックインカム打ち出す⑰	映画監督 増山 麗奈… 12
人々の小景 アルベルト・モラヴィア⑱ —ファシストと法王庁から禁書とされた小説家—	市川 隼… 13
どんぐりコロコロ	梅田 純子… 14
忘れ難い嘘	野口 文子… 15
余録／編集後記	… 15
選挙は筋書きのないドラマ 新潟4区 新潟県議会議員 杉井 ひとし… 16	



「新しい資本主義」って何んや

コロナ対策は政治の**義務**。地球温暖化の放置は**犯罪**

吉田 進

あはれ秋風よ
情あらば伝えてよ

コロナで受けた
貧者の苦しみを

今回の総選挙で各党は、争ってカネのバラまき「口約」を行った。それに対して矢野康治財務次官は、「心あるモノ言う犬」として「国と地方の長期債務は1166兆円。今の日本の状況は、タイタニック号が冰山に向かって突進しているよう」「財務省は、公文書改ざん問題を起こしたが、その恥辱を忘れず勇

行く川の流れば絶えずして、しかも本の水にあらず…

昭和21年6月20日の第90議会で戦争放棄と自衛権が問題となった。共産党の野坂参三は、「戦争には不正な戦争と正しい戦争がある。憲法には戦争一般ではなく侵略戦争の放棄を明記すべきである」に対し吉田首相は、「過去の戦争の多くは国家防衛の名においておこなわれている。故に正当防衛権を認めることは、やがて戦争を誘発する。お説の如きは有害無益」と答弁した。時代が変われば説も変わる。今は全く、その逆ではな

気をもって具申した」と文藝春秋11月号へ寄稿した。

小生は、人事で官僚支配を行ってきた安倍政権の暗雲を突き破った彼の勇氣に拍手を送った。ところが、かつて国民全てに10万円を配った際、



南アフリカヨハネスブルグのブルーボスランド地区道路のこちらは芝生とプール、向こうは貧民街。新資本主義といっても、資本主義そのものは常に貧富の格差を産み拡大する。是正は政治の役割

ある党員に「わが党からの10万円もらった？」と言われた知人が思わずカッとなって「10万円は税金や」と答えたそう。カネの支給は党利党略ではなく、苦しい人優先で配ってもらいたい。

さて、選挙の結果は自民大敗、共産党を含めた野党共闘の立憲も「敗北」。立憲の枝野さんは代表を辞任。一方、維新は当選者を3倍以上増やして大勝利。政治図を塗り替え

つての社会党の村山総理を誕生させたように、一歩後退二歩前進のテクニクも。

さて、自民党は世界の流れになっっている貧富の格差是正に込め「新しい資本主義」を唱え出した。一方、「人新世の『資本論』(斎藤幸平著)

が売れているとか。本の「はじめに」では、「気候危機の原因は、産業革命以降の資本主義。近代化による経済成長が豊かな生活を約束したが、それが人類の繁栄基盤を切り崩している。市民の一人ひと

ることに。

早速、国民民主党の玉木代表は、「身を切る」がキャッチフレーズの維新の吉村副代表と両党の連携を深め、憲法改正をめざすという。しかし、国民民主党はやがて己れが「身を切られる」んではなかるうか。とかく、野党は「小異を捨てて大同」になければ、政権はとれないことを過去から学ばねば。

かつて民主党政権の誕生は、保守の自民党や他党の議員が参加したからできた。

りが当事者として行動しなくては」と、マルクスの「資本論」から新しい面を発掘したという。「えっ、今頃マルクスって」と、昔を思い出した。先進5カ国に比べダントツで労働者分配率が低く、格差が大きい日本。待ったなしの地球温暖化。岸田首相が掲げる「新しい資本主義」の答えは、弱肉強食を正す政治である。

とにかく「企業ファースト、今だけ、カネだけ、自分だけ」人間はヤメ、他を思いやる人間に脱皮しなければならぬ。

野党の下手な選挙戦術(上)

敵の土俵で相撲をとる愚かさ

東京 三田 栄考

総選挙は維新の躍進、立憲の後退に終わった。関西人でもある筆者は、東京に対抗したい大阪人のプライドを突いた維新に傾倒し、大阪都構想に喜び身を切る改革のキャッチに共感し、公明とも取引するしたたかさに拍手するのは、大いに分かる。一方、野党の戦術・戦略は私には相変わらずつまらない、あまり意味のない戦略だったように見える。選挙は最大の政治宣伝の場であるはずなのに、議員さんはあんなことを選挙民や社会に言いたくて候補者になったのか？と思う。



10月30日選挙運動最終、枝野幸男氏は地元の東大宮駅東口に立って熱弁。こぶしを振り上げて30分訴えた。終了後支持者の中に分け入るとエダノコールと拍手が何度も起こった。4年前と比較すると多少……。

無関心の多い国民が相手だから仕方ないと言うのだろうか。政策を実行できない野党は毎年、新鮮さ、魅力、実行力などが要求されるから大変不利だろう。メディアが政策比較表を出すから、それ相応に対応しなければならぬのは

分かる。コロナ対策、経済支援、子ども・教育などは各党、大同小異である。バラマキ競争に過ぎない。

野党の政策を実現できると思っただ国民がどれだけいるのか？実現できるのは現在では与党案のみ。野党案は犬の遠吠えでしかない。予算の要る政策論議は敵の土俵、いや武装した相手に素手で闘うようなもので野党案が勝るわけがない。仮に野党の名案があれば政権党が味付けして、いかにも自党オリジナルの政策のようにして手柄を横取りされるのがオチである。

勿論、政策を打ち出す責務は認めるが、もっと工夫すべきだ。政策論議では菅義偉の数ある失政も表紙を変えたら無罪放免になる。だから政策よりも保守党の体質を、資本主義の本質を国民に理解してもらわないといけない。

《行き過ぎた新自由主義》のピッチでなく《強きを助け弱きをくじく資本主義、自動的に格差拡大を広げる資本主義——資本主義を礼賛する保守党では改善できない》とのピッチで議論しなければ意味がない。

これまでも、今回も、野党の多くのキャッチフレーズはポスターに自民党と書いてあっても場違いではない。《あなたのための政治…自民党(立憲)》《くらしに希望を…自民党(共産)》でもおかしくないでしょう。あんなことを言いたくて立候補したの？と聞きたくなるくらい当り障りのない誰でも言える言葉の羅列だ。もっともって工夫できないか？自民党では言えない、自公が嫌がるキャッチコピーを街に氾濫させない

自民党長期支配の現体制下の国家像に對比した社会をま

ず国民に示せないものか！自民公明がイヤガル、彼らが描けないフレーズを！私なら《国家主義より、国民主義を。国家の為に国民があるのでなく、国民の幸せの為に国家がある》とか。《過剰な愛国主義より、人類主義、世界主義を》とかね。《1%の勝ち組の利益代表の自民党、99%の庶民代表の野党共闘》とか《トリクルダウンで何？自公は大金持ちのおこぼれで庶民は我慢しろ？馬鹿にするなよ》《敵基地攻撃？一度ミサイルが飛ん

で来たなら両国は破滅だ。敵には平和外交で攻め込もう》等。国民は革命も急激な改革も欲していない。多くの国民が野党の政策・主張を突飛な実現不可能なものと思うと気持ちが悪くなる。最低賃金1500円と叫ぶ党がある。現在最高の東京でも時給1041円である。こんな主張は個人・中小企業者や関心ある有権者からすると、実現できない無茶を言う政党、経済界を大混乱させるだけ、どっちみち実現できないが。と共感よりも拒否感が遙かに多い。

さすがに立憲は1300円だが、これでも高すぎる1300円を目標とし当面は1150円程度が妥当。こんな主張は野党は無責任で政権を任せられないと不安に思われる。それより、野党は財界首脳と定期的な協議の場を持つべきだ。意見の一致は無理だが、実質経済を動かす財界との交流があれば保守的な国民も多少は安心できる。併せて高級官僚達との定期的勉強の場も必要だ。また国民会議とは言わないが、各界の頭脳を広く集めて公開の協議を毎月やるべきだ。

独首相

アンジェラ・メルケル

ドイツ・デュッセルドルフ市

後藤 昌三

添付の新聞ページの写真は第2次大戦後のドイツの首相の歴史である。私はウイリーブランド政権の時に電気機構部品メーカーの駐在員としてドイツにやって来て、爾来のドイツ暮らしです。それは東西の壁ができて9年目の1970年だった。このころ与党SPD（ドイツ社会民主党）は東方条約というのを掲げて、何とかして分断された東西ドイツの交流を再開したいと願い、それは国民の願いでもあった。

その頃、東ドイツは経済が行き詰まりつつあった。メルケルの生まれはハンブルグ近郊だったが、神父のお父さんと共に東独に住んでいた。次第に困窮が広がるにつれ、彼女は社会主義政権の限界を感じたに違いない。また壁が建設され、無理に東西に分け

られたドイツ親族にとっても壁が大きな問題だった。東方条約を掲げブランド政権は安泰に見えたが、有力部下のギ



ドイツの歴代首相D.Kanzlern

フのペレストロイカ、西との融和政策が始まる。この頃にメルケルは政治的な力を発揮するようになった。とはいえ西ドイツ側ではメルケルは全く知られていなかった。その頃は、西ドイツマルクが東ドイツマルクと1対10で闇交換されるあり様だった。

やがて西ドイツ滞在の家族は、東の家族を条件付きで訪問できるようにになった。妻の家族もたまたま西に来ていた

時に壁が
でき、そ
のまま当
時の東独
国民向け
の町で住
むように
なった。
東の親族
を訪問で
きるよう
になった
時、西ド

ヨームが実は東ドイツ機関向けのスパイだという事が発覚し、これが大問題となりSPDからCDU（キリスト教民主同盟）に政権が変わった。暫くして東欧圏の経済の停滞が顕著になり、ゴルバチョ

イツマルクの持ち込み制限下、子だくさんだったが全員を連れて東の親類を訪問した。親類宅に到着するや、子供たちに「さあ、ジャケットを脱ぎなさい」と命令し、上着の内側の縫い付けをほどく

のだった。そこからは西ドイツマルク紙幣が出てきたのだった。それぐらい経済力が東西で差があった。しかし東西ドイツ国民はイデオロギーのために殺し合いをしなかった。

そして東西の壁が崩れドイツ統一が図られる時がやって来た。これは東西ドイツ国民のまさしく悲願だった。CDUのコール首相は融和政策を果敢にすすめ、メルケルに後を託した。まさしく名人事だった。メルケルは東独で育ち、ロシア語も喋る。プー

ティンとの関係もぎくしゃくしない。彼女はなにより、社会主義政権下の国民の生活の苦しさを知っている。それを経済面で時の社会主義経済をサポートしてドイツの評価を保全する。根底には「共に生きていく為の協力」を進めたのである。この言わば「共生主義」とも言える政策は、ドイツ国内の外国人対策にも發揮される。

例えば「日独年金協定」というのがある。これは日本人がドイツで働いてドイツ国に収めた年金の期間と金額に、日本で働いて収めた年金と期

間を合算できる協定である。これで年金の無駄払いを予防する協定である。これは日本人相手に限らず、トルコ等からの出稼ぎ労働者にも適用され、年金満期も6年で取得できるようになった。これによりドイツで金を貯めてトルコの故郷に戻り、家を買ってドイツからの年金で悠々と生活できることになる。ドイツ側の方は出稼ぎ労働者の新陳代謝が進む。

このように自国での共生の政策が評価される中で、自身自身が経験した社会主義政権の弱点を補完しながら、メルケルは15年間で、ドイツを東西の要として発展させた。メルケルなきあとのCDUに後継となりうる実力者はいない。今回の選挙で野党のSPD（社会民主党）が第一党に返り咲いたが、「社会」を標榜するSPDが果たしてメルケルに負けずにロシア、中国と「共生」の信頼関係を後継させることができるか注目される。また物理学博士のメルケルが鶴の一声で原発をやめたような力が、後継のSPDと緑の党に環境問題解決で力を発揮できるかが注目される。

シンガポールのコロナ事情

シンガポール在住 しんちゃん

シンガポールにおいて、これまでCOVID-19の感染拡大に対して、様々な措置が実施されてきた。2020年には、日本で今騒がれているワクチンパスポートがらみのアプリ『TraceTogether』を導入し、店舗、施設、病院、レストランなどあらゆる場所への立ち入りにチェックイン、チェックアウトの記録をとるようになった。更に今年から『Token』と呼ばれる端末の同時利用となった。これらの対策は、社会・経済活動の制限緩和を進める中、接触者追跡の精度を高め、市中感染のリスクを低減するのが狙いだった。濃厚接触者になると、政府から連絡が入り、指定されたホテルで厳格な隔離を実施して、防止対策が取られてきた。中でも、マスク着用は徹底しており、マスクなしでの外出は禁止で、もし警官や監視員に見つかりると

にして2万4千円の罰金である。5歳以下の子供と身障者は除かれる。日本のようにマスクを着けていなくてトラブルになったというようなことはほとんどない。



Safe Distancing Ambassadorというシンガポール独特の赤い監視員服を着て街中において、違反者が居ないか監視したり、注意したりしている。違反者に対しては、彼らが直接、切符を切る権限を与えられている。写真のように監視活動をしている

国民へのワクチンプログラムは、21年1月からスタートした。(フロントライン従事者へは20年から始まる) シニア世代から接種が始まり、21年5月には12歳以上のワクチン接種もスタートし、夏季休暇期間(6月中)に1

回目を済ませるよう保健省(Ministry of Health)や学校担任から各家庭に連絡までしてくる徹底ぶりであった。

今年9月から感染増加 厳しい行動制限が始まる

しかしながら、9月1日からのブースター接種の開始とともにイスラエル同様、急激に感染者の増加が見られた。(この時点でワクチン接種率80%)これは徹底した潜在患者のあぶり出しの結果ともいわれている。9月27日から再び厳しい行動制限が実施されている。外出は2人以下、レストランや買い物も2人以上は許されない。また、未接種者はモールやレストランには入ることは許されない。

10月16日現在 ワクチン摂取率85%にも関わらず、感染者は4千人近く、死者も毎日10人前後。日本の人口に置き換えてみると、感染者一日当り約8万人、死者約210人前後で、危機的な状況である。病院もひっ迫しており、よほど重症でない限りは入院はできない。現在F

1レース場のメインスタンドの建屋を改装し臨時のコロナ病棟へ工事が進められている。

ワクチン未接種者の職場出勤は認めない

更に、シンガポール政府は、ワクチン未接種者は来年1月以降、特別な理由のない限り、職場への出勤を認めないことを発表した(10月23日付)。労働人口のワクチン未接種率は2%である。シンガポールはワクチン義務ではないと発表しながらも、実質的には政府からの強力な圧力をかけている。体質上、ワクチン接種ができない人はリモートワークで凌いでいるが、コロナが収束しなければ、出勤できなくなり、仕事ができなくなるかと心配している。

政府発表によると、ワクチンによる重篤な副反応もあるようだが、ワクチン接種と死亡者の関連については、一切認めていない。また、マスクメデアは元政府関係者が多く、政府に批判的な記事は一切報道されない。

ワクチン政策への国民の不満が増大

これまでシンガポール国民の政府への信頼度は高く、政府発表に対しての批判コメントはほぼ見られなかったが、感染者数が激増して以来、特に未接種者に対する過度な制限について、疑問を呈するコメントや、ワクチン政策(ブースターの接種、若年層へのワクチン推進)に対して否定的なコメントが増えている。ここまで政府の支持率が落ちたことはなかった。これまで、順調に経済発展を遂げてきて、国民のGDPも日本を大きく上回るまでに成長してきただけに、政府としても、政府が執ってきたワクチン政策の正当性を証明するために躍りになっている。これまで、シンガポールの建国・発展に関わってきた李家が、コロナ直前より政界から身を引くことが発表されており、次世代の政治家たちが現在の政局を担っているが、彼らに対してどのように答え、これまでに取ってきたワクチン主体の政策をどう改めて、これからの政治の舵をどう取っていくのが試されている。

闘い続ける 衆議院選挙を終えて

東京15区(江東区)で惜敗した

元候補者 井戸 まさえ

野党統一候補の実現のために、選挙区調整の結果、東京4区から東京15区へ選挙区を移動し出馬することを発表してから3週間弱。多くの人々にご協力をいただき、東京15区での「野党統一候補」としての選挙を戦い終えました。まずは私に5万9千票を投じてくださった方、またすべての江東区民の皆様には感謝を申し上げます。告示の10日前にこれまでの大田区から江東区に移籍した私が、当選者に1万7千差に迫ったことは無名の私にとっては野党共闘の大きな成果（共産党の小堤東氏は比例区に急遽、回っていたのだいた）とも言えるが、自民党分裂のチャンスを生かせなかったのは残念です。運動期間が実質2週間でなくせめて半年あれば或いは……。

東京江東区は特異な選挙区

でした。カジノ汚職で逮捕、有罪判決を受けた前自民党の秋元氏が告示直前まで無所属で立候補の構えを見せていました（江東区からは比例復活で2度、小選挙区で1度当選）。対する野党は新自由クラブの柿沢弘治氏の息子柿沢

未途氏（民主党、みんなの党、維新の党他）が4度この区から選出されていた。が、所属していた立憲などの会派を離脱して首班指名に岸田文雄に投じ、自民党推薦を受けて立候補当選した。告示直前に自民党元職の今村ひろふみ氏が区議等の支援を得て公認で出ようとしたが、自民党は全国唯一の二人推薦という奇策に出た。維新の金沢ゆい氏が4万5千票。加えて野党系と称しておっさん東大生なる猪野隆氏が連続立候補して1万7千票。嫌韓運動を続ける桜井誠氏が9千票でした。

党共闘は、選挙戦を通じて深化することができたと思っています。その背景には、長期にわたる宇都宮健司、古今亭菊千代さんを先頭に、粘り強く行われてきた江東区での市民と野党の共闘に対する取り組みが地域に根を張り、広がっているからこそでもあったと実感します。私はその土台があったからこそ、走ることもできました。

この選挙では木場に選挙事務所を構えました。何の気なしに、路地を入ると芝木好子の小説で読んだ州崎の風情が残存していることに気づき、ここで必死に生きた女性たちに思いをせました。私の政治を志した原点が、ここ江東区にもあったのです。また、城東エリアでは「仙台堀川」の地名を見る度に、ふるさと仙台を思い出したり、豊洲等の湾岸エリアはまさに未来そのものの町並みで、歴史の縦軸と、自分のいきる今という横軸の接点が江東区であり、自分がこの地で「立憲民主党公認」「野党統一候補」として選挙に出ることの意義に心震える思いでした。

今後とも、諦めず、闘い続けます。

（2021年11月5日記）



元日弁連会長宇都宮健司氏（元都知事候補）も応援に駆けつけた

一方で、東京全体で見れば私が転区したことでさらに4つの選挙区で野党統一候補が誕生し、うち2つで議席獲得となりました。立憲民主党も8小選挙区で当選を果たし東京としては野党共闘は成功したと思います。たとえ私自身が議席を得ることはできなかったとしても、この選挙で一定の役割を果たし得たと思っています。

また東京15区でも野党共闘は、選挙戦を通じて深化することができたと思っています。その背景には、長期にわたる宇都宮健司、古今亭菊千代さんを先頭に、粘り強く行われてきた江東区での市民と野党の共闘に対する取り組みが地域に根を張り、広がっているからこそでもあったと実感します。私はその土台があったからこそ、走ることもできました。

選挙期間中はともかく考える間なく、動かなければいけないという時間的な制約と、成果を出さねばならないというプレッシャーに押しつぶされそうになりつつ、無我夢中、猪突猛進で突き進んでいた感が強いのですが、今後は通常モードに戻り、政治家、ジャーナリスト、アクティビストとして活動を再開させて行きたいと思っています。

金持ち国による勝ち組の為の

国威発揚のオリンピックを改革したい

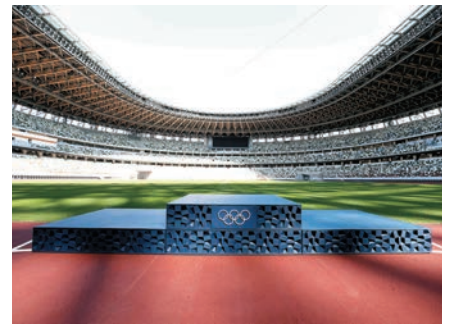
大阪市 原野 通有

東京オリンピックは幾つもの感動を我々に与えてくれた。白血病を乗り越えての出場。兄妹や姉妹での金メダル。走り高飛びの二人で分けた金メダル。バトンタッチの失敗の100mリレー等々。新体操も綺麗でよくまああんなことができると感動ものだった。それにもまして彼らの熱意と努力には感心する。とても私にはできない、感服で脱帽だ。

しかし、水泳やスケートボードなど多くの競技の参加国は先進国に偏っている。いや、205の参加国があっても、1つでもメダルを取れた国は半分もない93カ国。メダル数なら米中日3国で全体の24%の395個10カ国で半分以上を奪っている。かつての開催国メキシコは4個。世界2位の人口のインドはたった7個、4位のインドネシアは

5個だ。オリンピックは国威発揚とGDP国富の祭典に堕していないか？

有力国やお金になるメダル争いの種目を増やし、ますます金持ち大国のためのオリンピックになりつつある。開発途上国は数名、数十名の選手を送るのがやっとで、メダル争いに加わるのは尋常の技ではない。そんな余裕がないのだ。そりゃさうだろう、50mの温水プールがある国は世界中探しても半分もないのではないか？あの複雑なスケボー会場を設置し練習できる余裕ある国や国民がどれだけあるかと考えてみれば分かる。もとよりアスリートの能力と鍛錬に異をはさむ気は全くない。が、能力以上にそれを生かす環境と機会に恵まれていたのだ。父母の期待を背負っても幾ら頑張っても、大



新国立競技場の表彰台

多数の子供らは途中で夢破れる。誰でも努力すれば五輪に出られるなどと間違った幻想を与える。頑張れば人生は成功するなど甘い夢を振りまかれるのは迷惑だ。

アスリートより多くの人にスポーツを

多くのアスリートは10歳前後からその種目に没入し始め、時間もお金も費やしている。見込みのある少数の若者には国やスポーツ団体が資金を掛けて支援を始める、その選ばれた中の一部の者が、五輪までやっとたどり着ける。2019年、スポーツ庁は100億円の税金を選手強化に配分した。雇用企業やCM等でも勝ち組に援助金を出している。中小国ではとても対抗できるものではない。パラリン

ピックの選手一人の競技のためだけにどれだけ多くの資金が投下されていることだろうか？障がい者がスポーツを楽しむのは大いに結構だが、パラリンピックのためよりも途上国医療支援に向けた方がよっぽど人道的ではなからうか？

近年では道具や医学や科学まで動員して血眼になってより早く、より強くというかメダル獲得に狂奔している。とても途上国が参加できるレベルではない。それが証拠に単純なスポーツの陸上競技には途上国も顔を揃える。

夢破れてそれまでの時間と努力を完全に無駄にして、別な世界に生きて行かざるを得ない数多くの若者にも思いをはせるべきだと思う。スポーツ以外の多くの組織、団体において成功し、社会から敬意を受けるのは極めてわずかな人しかいない。経済的にも、ましてやそれ以外の分野においても勝ち組は極々一部、メダルを取れるくらいの一部で、残りは皆負け組と言っても良い。メダリストが必要以上に称賛されるから、極く一部の勝者だけで良いと人々は思うのだろうが、私は勝者に較べ

て敗者の（それ以外の人）立場にもっと配慮すべきだと思う。プロ野球で言うなら年俸何億円の数人のプレイヤーの裏に、プロ野球選手どころか甲子園にも出られなかった若者のいかに多いことか。

オリンピックは商業化し開催にも大国にしか賄えない巨額の費用がかかる。過剰な競争がドーピングまで追いやる始末だ。IOC貴族とは何ごとか！各国が集って競うから平和の祭典の要素はあるが、国家主義を煽ることがあっても意識して世界平和を導く働きは殆どない。アフリカや中近東などで一度も開催されておらず、冬季オリンピックの開催などは論外だ。

南北朝鮮の共同チームとか広島・長崎での開催などの工夫がない。途上国が参加しやすいような配慮は聞いたことがない。勝者のメダルや国歌が強調されるばかりで〈国連旗〉や〈頑張ったで賞〉も見ることがない。五輪はこの数十年は悪い方向に走り続けていると断じたい。もっと広く国を越えたスポーツマン個々に門戸を拓いてもらいたいものだ。

憲法と改憲を考えるシリーズ15

鈴木義男と生存権——「生存権」誕生の舞台(上)

1946:社会党議員らの奮闘の軌跡

社会事業史学会会員 清水 まり子

7(1995)年でした。日本国民は25条を根拠に、生存権を侵されたと国を訴えることができるようになりました。この番組の制作にも関係され、義男議員の血を引く清水さんに2回連載で経緯を紹介していただきます(編集部)。



らっしゃるでしょう。憲法審議の中でも、最も光りかつ重きをなす発言と言えるかと思えます。

今年5月、NHKで「義男さんと憲法誕生」という番組が放送され、当時の社会党議員の弁護士、鈴木義男が憲法25条生存権の産みの親であると知った方もいるでしょう。憲法審議の場となった芦田小委員会の審議録が公開されたのは、50年後の平成

「生存権は最も重要な人権」

放送の中で、鈴木義男が「それならば生存権は最も重要な人権です」と発言した箇所を記憶されている方もい

90回帝国議会が招集されました。女性の選挙権も認められた日本で初めてと言える民主的選挙で選ばれた衆議院議員たちは、制憲議会とも言われ

るこの議会に、国民の代表として気迫に満ちて臨んでいました。

日本国憲法はGHQ草案の段階から、日本政府側での数次の改訂・修正をへて、帝国憲法改正案としてこの議会に提出されました。当時の議会における審議の実際を知ることは今の憲法を理解するうえで非常に重要ではないかと思いい、生存権審議について紹介させていただきます。

50年後に成立経緯明らかに

衆議院での憲法審議の概略を述べますと、昭和21年6月25日から衆議院本会議で各党代表による質問演説。次に特別委員会が設置され6月28日から7月23日まで20回の審議、更に各党代表計14名からなる小委員会(衆議院帝国憲法改正案委員小委員会、いわゆる芦田小委員会)が設けられます。この小委員会は7月25日から8月まで13回開かれました。小委員会は各党の修正案を持ち寄って審議し、共同修正案を作成する目的から設置されましたが、この小委員会が衆議院における実質的な中核となる憲法審議の場と

なります。

「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」憲法第25条第一項の文言は、この芦田小委員会の審議の中で生まれます。

これはGHQ草案にもなく、政府の帝国憲法改正案にもないものでした。平成7(1995)年、戦後50年を経て公開された審議録「衆議院帝国憲法改正案委員小委員会速記録」という公文書を通して初めてその成立経緯が明らかにされました。

芦田小委員会は、自由党から議長芦田均を含め5名、進歩党から犬養健ら3名、協同民主党林平馬、社会党鈴木義男・森戸辰男・西尾末広の3名、新政会大島多蔵、無所属1名の14名で構成されています。

この芦田小委員会の前に鈴木はGHQのケーデイス大佐を訪れ次のような言葉を取っています。「日本国民が、そして国民の代表者が、本当に日本のために良いと思うところがあるならば、反動的に封建的に直すのは賛成できないが、直すことは結構であり、少しも拒むつもりはない。大いに修正してよい」こうした

背景のもと鈴木は自由で朗らかな気分が審議に臨んだとあります。

また会議の冒頭では、保守派の議員から「我々小委員一同は今日命を投げ出しておいて、政党政派を超越して歴史の上に残るつもりで良心的にこの聖なる仕事を遂行する覚悟を明らかにし、ここに厳粛に誓いたい」という発言があり、決して押し付けられた受け身の姿勢ではなく、委員各自が非常に前向きな姿勢で審議に臨んでいることを確認しておきたいと思えます。

生存権規定への熱い思い

速記録からは各議員が真摯に話し合いを重ねていることが読み取れます。例えば生存権以外にも、9条について、宗教教育について、義務教育の導入についてなど濃密で真剣な議論が重ねられています。しかし、速記録全般からいえることは、社会党の健闘が著しいということです。その成果である現在の第25条の第一項、即ち生存権の成立は社会党の鈴木義男と森戸辰男の二人の健闘なくしてはありえなかつたと言えます。鈴木

は法学の立場から、森戸は経済学の立場から政府の草案にはなかった生存権規定を憲法に盛り込むことに奮闘します。

この二人は、第一次世界大戦後のドイツワイマール共和国への留学という共通体験があります。敗戦国ドイツに充実した社会権を備えた画期的な民主憲法が作られたということ、特にワイマール憲法第151条の「人間に値する生活」の条文に鈴木は感奮興起し、それと同じ規定を新憲法にも盛り込みたいと話し合つたと後日、国会で証言しています。また森戸は別に戦後すぐに民間の憲法研究会で社会党案とほぼ同じ条文を作成していましたから、二人の思いは制憲議会で結実したともいえます。そして20世紀に入つての各国の憲法の新たな流れを見聞した二人にとって、敗戦後の日本に制定される新憲法は、社会国家即ち福祉国家への道筋を示す内容になるべきだという強い思いがあったと考えられます。

新憲法は福祉国家への道筋

生存権規定については小委員会の中で昭和21年の7月29

日、30日、8月1日の三回にわたり審議が繰り広げられました。帝国憲法改正案（以下「政府草案」と略称）には、第23条として、「法律は、全ての生活部面について、社会の福祉、生活の保障及び公衆衛生の向上及び増進のために立案されなければならない」とあり、これは現在の第25条の第2項となります。それに対し社会党案は、「すべて国民は健康にして文化的水準に適する最小限度の生活を営む権利を有する」というもので、草案第23条の第一項としていれることを提案します。

一日目、先ず議長芦田は社会党案の「権利を有する」という文言の意味を確認します。従来は国家に権利を裏付ける義務は生じないとあつた点につき、森戸は「政府は単に之を妨げないというだけでなく、積極的にこの要求に沿うような施設を作っておくことが望ましいし、それを要求するものである」と答え、社会権としての生存権の説明をします。次に芦田をはじめ保守派は草案第23条にある「生活の保障」の文言を「社会保障」と改めればすむ話ではな

いかと主張しますが、森戸は社会党案は大原理として不可欠であること、「国民がこう言う生存に対する権利を持つておる、それで民主主義的の



周恩来氏と談笑する鈴木義男氏（左）

るのではないかと疑義が出されます。それに対して「文化的水準というものの為には最小限度の生活を維持する権利を持つことは是非とも必要なこと」「人が個人的な尊厳ある人格として承認されるという事を裏付けるには、やはり生存権を有することによって是が具体的に行われるのではないか」と反論します。

次にやはり12条に「最大の尊重を必要とする」とあることから保守派は既に権利を大きく認めているのではないかと述べる

国家はその目的の為にこう言う施設を（施策）をやらなければならぬという風に考え」と反論します。

更に保守派からは、草案第12条にある「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については……」とあるところから、社会党案の健康にして文化的水準に應ずることは、12条の幸福追求に対する国民の権利に含まれ

のですけれども、之を追求して生活のできない者が非常に沢山あるのが今日の現状です」「その状態を何とか民衆の権利を基礎にしてよくしていくという所に、生活権の問題というものが出てくるであろうと私共考えます」と森戸は反論します。しかし大勢は保守派に賛同する中で、第一日目は終わります。

二日目は7月30日で、生存権以外の社会党案が主に審議

されます。家庭生活の保護、高等教育の国家保障、就業の機会均等宣言、失業防止立法原則、老年・疾病・廃疾・寡婦等の生活保障などの項目が社会党案にあったのですが、他派から細目に過ぎると批判されます。それに対し鈴木はロシアやフランス、ドイツなど世界の憲法の流れはこうした社会権規定を憲法に盛り込む趨勢にあることを述べます。また森戸も現在の憲法に生存権を入れる歴史的意義を強調してこの日の審議は次に移ります。（次号に続く）

※1 ケーディス大佐はこの時、天皇の性格を象徴でないものに変えること、及び軍隊を持つことの二つは極東委員会及び司令部の方針として賛成できないと述べて、それ以外は大いに修正してよいと述べています。

※2 この時の発言は自由党の委員のもので、重複しますが全文は次のとおりです。「つらつら考えてみるのに、われわれのこれからやろうとしている仕事は、容易ならざる大事業である。生命を惜しんでおってはやれることではない。われわれ小委員一同は今日命を投げ出しておいて、政党政派を超越して、歴史の上に残るつもりで良心的にこの聖なる仕事を遂行する覚悟を明らかにし、ここに厳粛に誓いたい」。これに対し鈴木は「保守派と進歩派と、或いはその感懐を異にしたかもしれないが、命がけの仕事だということについては、何れも同感のようで異議なくそれを誓ったのであった（略）立場は違っている、我が国のために良い憲法を作っておこうという熱意においては溢れるものがあつたのである」としています。

中途障がい者の車椅子生活

千葉市 近正美

ボクは1955年、千葉市生まれ、千葉市在住。2009年12月、勤務先（千葉県立生浜高校）の教室で現代社会の授業中に右脳視床出血で左半身不自由になり、車椅子を利用するようになりました。病院に到着するまでに出血は止まり、手術もなく1週間後にはリハビリが始まりました。その後12年、悪くもならず、良くなるわけでもなく、不自由ながら健康を維持しています。

学校はバリアだらけ

脳出血で倒れた翌年（2010年）の9月には職場復帰しました。問題は学校というところはバリアだらけで、公



共施設としてはもっとも劣悪な環境ということです。千葉県の公立高校では、ほとんどの高校にエレベーターもなく教室にたどり着くこともできない学校がほとんどです。ボクも自分の4階にあった研究室に行くことができず、朝の打ち合わせを行う2階の職員室にも行くことができませんでした。職員玄関にも、生徒昇降口にもスロープはなく、杖を頼りに2段を必死で登る始末でした。ボクは少し歩けたのでどうにか職場復帰できたということですが。

多様性への配慮ない校舎

学校というところは、基本的に「多様性」を認めることを前提にしていません。基本デザインは明治に学校制度ができたころとほとんど変わっていません。最近まで、全国の学校建築では北側に廊下と決まっていた。日差しが強い地域では南側に廊下とし

たほうが快適なのですが、長年全国同じデザインで、子どもたちは暑さ寒さの我慢を強いられています。

ボクの障がいは左半身不自由ですが、障がい者の不自由は個性的です。ボクは少し歩けるので、洋式トイレなら多機能トイレなどでなくても頑張れば使えます。ただ、トイレの入口に段差があると使えません。ボクの車椅子はWELLという会社のニュータイプなので、パワーと操作性が高く、ボクには向いています。体が、ボクが弱く姿勢を維持できない障がい者には使いにくいものです。介護保険での利用で、レンタル料金は月3500円ですが、手押しの車椅子は月5000円です。購入もできますが、ボクの使っているWELL・Cタイプで60万円ほどです。

今は年金生活楽しむ

教室で倒れて6年、幸せな教職人生を全うして、2016年3月末で定年退職し、現在は年金生活をのん気に楽しんでいきます。地理教員だったので、出歩くことが大好きで、今も「日本の理不尽さ

フィールドワーク」と言いながら、裁判傍聴や国会門前行動、学習会などに出向いています。また、全国に知り合いがいるので「行脚」と言っていて、新型コロナ流行まではあちこち出かけました。地理を勉強してきたので、どこに行っても、興味・関心のあたるテーマを見つけて楽しんでいます。

無人駅とローカルバスは難敵

公共交通機関での移動は、ほぼ問題ありませんが、無人駅とローカルバスのバスは難敵です。事前に行程を決めて、シミュレーションして出かけています。地図と空中写真で階段の有無を確認したり、行きたい飲食店の入口に段差があるか「ストリートビュー」で確認します。それでも、行ってみると目的地にたどり着けないときは、プランBを楽しみむことにしています。無理せず、余裕を持って行動することが楽しむコツだと思います。現在のパンデミックも地理学では19世紀半ばロンドンのコレラ流行についての研究が古典として存在します。まだ「細菌」というものが発見さ

れる前の研究で、その後の公衆衛生につながっていきました。地理は空間に生じる現象を研究対象とするので、さまざまな事柄に関心が向かいます。そういう地理を学んできたことで、障がいを得てからも新しい点から社会を見ることを新鮮に感じています

エピソード…さて、ボクにと

って幸いだったのは、40年ほど前に千葉大学の学生たちと「障がい者問題」などについて、学習会を開いたことと、千葉県内の「障がい者の高校進学を求める会」の運動にかかわっていたことだと思います。「予習」ができたということですが、歳を取れば、必然として障害を得ると考えていました。予定より少し早く障がい者となりましたが、この「予習」は役に立ちました。車いすでアチコチ歩くのも、自らを行動展示することで、見かけた人たちに考えてもらえればという思いもあるからです。みなさんも是非「予習」をしてみてください。そのことが「障がい者がかわいそう」という神話から脱する一歩になると思います。

「一切は空」

どうしようもない壁にぶつかると、尻込みして逃げ出さなくなることがある。そんな時、私は座禅を組み、「一切は空」の般若心経を思い出す。昔は子育てに追われ、老いた親たちのお世話もあった。忙しくて自分を振り返ることもできないくらい余裕がなかったので、「一切は空」という言葉の意味がぴんとこなかった。父たちを送り子ども

たちも大きくなって孫が生まれてから漸く後ろを振り返るようになった。

私は自分の子育ての時はどうだったのだろうか？育て方は良かったのだろうか？無我夢中だった。子どもたちには良かれと、勝手に思い込んで、自分の思い通りにさせようとがむしゃらになっていたのではないだろうか？育てた子たちが孫を夢中に育てている姿を見ると、私もああいう風に余裕がなかったんだなあ、若い時は仕方がないなあ、みんなが通る道だなあと改めて自分を振り返って

る。さらに、私よりもよく考えてやっているなあとか、よく我慢をして子どもの目線に降りているなあとか感心したりもする。

私は自分の未熟さゆえに壁にぶつかりながらここまでできたけれど、決してスムーズに來れたわけではない。私の弱さ、つまらない見栄、自分を大切に思いつぎる心に潰されそうになりながら、その都度悩んで立ち止まった。夫にアドバイスをもらいながら考え直して、何とかここまでやって、どうしようもないこと

らかが召される日が来ると、やがてその夫との別れの日も来る。それを思うと、やっと「一切は空」という言葉が身に染みてくる。

実は命がけで産んだ子たちも、天から与えられた試練の賜物で、自分のお腹から生み出した子でも、全く違う個体。自分のいいところ、悪いところを正直に見せてくれる鏡。束縛されず思うように生きたい自分があるのも忘れ、自分の思い通りに育てようと思えば思うほどうまくいかないのは当たり前。だけど鏡の中に一筋の光もある。それは夫との愛の中に天が子どもに与えた、自分にはない才能だ。自分にはない子どもの才能を見つけて、それを助ける役目になりさえすれば互いに幸せになるのかもしれない。

される。私はたった1本の糸。けれどその1本の糸がないと広大な宇宙の世界は作られないのだと思う。座禅を組むたび、私は広い宇宙と1本の糸の私の役割を感じている。どんなにアガいてもどんなに命を削っても行き着くところは1本の糸。1本の糸が与えられた使命を感じながら、残していく子どもたちとまたどうやったら絡み合えるのか、考えを巡らせながら、天にのぼるのだろう。たまたま縁があつて私と出会い、私を嫌にならず、ずっとサポートしてくれた夫だけは多分死してなお私のどこかに絡み合っているのだとわかるような気がしている。

「一切は空」とは、信頼はしても期待をしない世界。相手に期待をするのは自分のエゴ。「期待しないで信頼すること」は難しいけれど、たまにエゴを捨てられた時、「一切は空」の意味を感じることが出来る。今日も分厚い壁の前に座禅を組んでいる。

中田 恭子

(画柳会代表・横浜市在住)



「平安」 中田 恭子

があることも知らされたい。長いようであつたという間の人生を振り返ると、弱い私は夫のアドバイスがなかったらここまでこれなかったのだなあと感謝に行き着く。誠を尽くす、けれど、自分の誠意は通じない域が必ずある。だからこそ、通じた時の喜びがひとしおなのだ。何度も、何度も壁に当たり、へこたれ、夫の手に救われてここまで来たが、どち

日光東照宮の「画聖」称号を拝受しました

7月に日光東照宮に呼ばれて「画聖」をいただきました。「画聖」とは重要無形文化財継作家という意味のようで、日光東照宮の8つの建物が国宝に指定されて70年目の記念に与えられた称号です。戦乱から抜け、徳川の時代になって15代も戦乱のない世が続いたことと、絵描き、工芸、書家など8人の私たち作家が今の世を平和に導きたまえと祈って作る作品との共通点が深く評価されたと言うことで与えられたものです。(筆者)

映画監督にして画家 増山麗奈の駆け巡り!



第17話

総選挙でも各党が ベーシックインカム打ち出す

アメリカのスターバックス店員の時給が1900円に上がった。日本の2倍以上だ。日本は今、先進国で最も給料が低い国だ。東大のAI研究者よりアメリカのピザ屋店員の年収のほうが高いらしい。ノーベル環境学者の真鍋さんが日本国籍を捨ててアメリカで研究をしたのも頷ける。優秀であればあるほど、今の日本から頭脳流出もしたくなるわ。

国力が衰えるというのは、こういうことなんだなあ、

しみじみ感じる。テレビでは仕事を失った母親が生きるために街娼として働く姿が放送されている。30年間「今だけ金だけ自分だけ」利権の中であぐらをかいていた政治家や企業経営者、官僚が、次の世代や技術を育てぬまま社会を構成する全てが錆びついている。

日本では、前例がない。ことが疎まれ、チャレンジャー若者の教育に投資がされない。そんな逆境の中、ヒーコライながら資金調達して映画製作、海外と文化交流を続けてきた私は、日本と他国の違いを肌で感じている。

ロシアでも、欧州でも、アメリカでも人々はもっと自由に起業への挑戦をすることができ、芸術家は尊敬され、無料で大学までいける。しかし成田空港に帰ってきた途端重々しい空気で人々の表情も萎縮している。あー息苦しい。

プリンセスも恋しただけで、誹謗中傷フルボッコ、PTSDで亡命に。自由にさせてくれよ…。

巷には「はずだった○○」が溢れている。もっと開発費があればヒットするはずだった商品、結婚するはずだった氷河期世代、生まれるはずだった子供たち、通うはずだった大学。誰かの「はずだった○○」は経済戦争の戦没者。靖国神社の隣に「はずだった神社」を作りたいくらいだ。

「需給/供給力」を数値化



グランドホテルニッコー台場、ギャラリー21で、第5回「フラワーガーデン展」(MITIKO企画)に筆者も出展。新鋭作家の池田真優さんも参戦! NFTアートでも新しい旋風を起こしますよ!

してGDPギャップという。生み出す力があるのに、その商品を買う勢いが無い時にマイナスになる。日本のGDPギャップはコロナ第一波の2020年春でマイナス10%。もし何も対策をしなかった場合、2023年にもマイナス2%のままだ。

衆院選の争点が「現金給付」だったことはそんな切実な世相の反映だろう。「成長と分配の好循環」と自民党。公明党は18歳まで一人10万円給付、立憲は困窮者に年12万円給付、国民は「国民一律10万円給付し確定申告時に高所得者は課税」、NHK党は「期限月10万円分ポイントマイナンバーと紐つけ給付」。れいわは「コロナを封じ3ヶ月間ロックダウンと月20万円給付」。

基本「現金給付」は既定路線で、あとはいくらをどの対象、期間、方法で財源はどうするかという議論になっている。

これは日本におけるベーシックインカムの歩みの中で初めてのこと。自身の愛人以外には超緊縮でおなじみの麻生元総理がリーマンショック後3万円の給付金を配るも、

2度目がないまま気がつけば14年。リーマンショックを克服できないまま、日本はコロナ禍でさらに貧乏になった。2020年、国民全員10万円給付をしたものの「全部貯蓄に回って経済に影響が出ない」と、またもや同一人物の麻生元財務相にケチをつけられた。ようやく財務省・麻生の呪縛から開放されるのか。このチャンス逃してはならない。

「国債は次世代への借金 おしつけじゃない」

財源は国債発行との声が多い。日経NEEDSの経済試算で、毎月8万円を3年間国債発行・国民に給付/2年続けてもインフレ率2%は超えない。失業率は2・4%下がり、100万人の雇用を新規に生み出し。名目GDPが150兆円上がる。悪いことは何もない。

好循環を生み出せば税収も増える2年後には8兆円の税収増見込み。重要なのは長年の負の連鎖をリスタートする一歩を踏み出すこと。

失われた青春は戻ってこないけれど、これからの未来は書き換えることができるのだから。

クワ
人の
小景

連載
第19回

アルベルト・モラヴィア

ファシストと法王庁から
禁書とされた小説家

鎌倉 市川 隼
在住



アルベルト・モラヴィア・HP
(1907-1990)

60年以上前の話になるが、高校の図書室に、世界文学全集と日本文学全集が整然と並べられていたが、世界文学全集ではDH・ローレンス

が、若し、モラヴィアの著書が、本棚に並べられていたら、先の本より遙かに黒ずんだに違いない。司馬遼太郎と井筒俊彦の対談『二十世紀末の闇と光』で、話が民族の問題になり、更にユングに辿り着き話が堅くなるが、対談の堅さを和らげる様に、司馬が、「三位一体は嘘で、悪魔を入れて四位一体にしなればいけない。もしくは、神といるものは善のみではない。その半分は悪だ」とユングに語らせている『モラヴィア自伝』に触れ、「モラヴィアというイタリアの、ちょっとセックスの好きな大変いい作家の事に思い至りました(笑)」と井筒に話を向け、「そうですね。おもしろい人です」と応えた井筒に、モラヴィアの読者である事を自認させている。

モラヴィアは、1907年11月にローマで誕生し、1990年9月82歳で、ローマで死亡した、生粋の「ローマっ子」だった。建築家でもあり画家でもあった父親を持ち、裕福な家庭環境で育ち、両親はモラヴィアを外交官にさせようと、幼児の時から家庭教師をつけて、英語、仏語、独語などの外国語を習得させたようだ。7歳の時に骨髄性カリエスに罹り、小学校を中退し、自宅やサナトリウムで



モラヴィア著作

師をつけて、英語、仏語、独語などの外国語を習得させたようだ。7歳の時に骨髄性カリエスに罹り、小学校を中退し、自宅やサナトリウムで破した様だ。17歳頃から書き出し、何度も習作を重ね、21歳の時に出版したのが『無関心な人々』で、出版社から見向きもされなかったが、自費出版し、多くの読者に受け入れられた。その後、『仮装舞踏会』、『ローマの女』、『孤独な青年』、『軽蔑』、『倦怠』等を出版し、大胆な性描写を通して、ブルジュア社会の怠惰な社会を抉り、ムッソリーニのファシスト政権の怒りに触れたばかりでなく、神への冒瀆を描いているとして、ローマ法王庁からも禁書の扱いを受けた。ファシズムやカトリック両方から同じ扱いを受ける程、モラヴィアの描写が「危険」であり「過激」だったと受け取られた訳だが、政治と宗教の古くからある癒着が暴かれたと、権力者が怯えたのかも知れない。

マドレーヌ・シャンブルが1960年に12人の文学者にインタビューをしているが、サルトル、ボーヴォワール等と共に、モラヴィアも選ばれている。気鋭の映画監督達も好んでモラヴィアを取り上げ、『軽蔑』は1963年にジャン・リュック・ゴダールに拠って映画化され、ブリジッド・バルドーの奔放な姿態が、映画ファンを釘付けにし、『孤独な青年』は、ベルナルド・ベルチルッチに拠って1970年に『暗殺の森』となり、アカデミー脚色賞を受賞する等、評価を高めた。1937年に日独伊は三国同盟を結び、第二次世界大戦に突き進み、日独共国際的な批判に晒されたが、伊への批判が余り声高でないのが不思議だが、イタリアでは、内部からの抵抗がバルチザンを生み、ファシスト政権や王制を倒した事が遠因にあるのかも知れない。モラヴィアは社会のモラルの退廃やファシストをアブノーマルな性格破壊者として描き、権力者の逆鱗に触れたが、モラヴィアの批判は、当時の内部からの、痛烈な批判の一つだった。

ぶとむらつろ

新潟県三条市 梅田 純子
(泉大津市オリアム随筆賞受賞作)

二〇〇一年二月、私はがんセンターの奥にひっそりと佇む角砂糖のような部屋の前に立っていた。ドアには黒いスモークガラスがはめ込まれていて、中は見えない。上方には、「化学療法室」と書かれた翡翠色の表示灯がほのかに光っている。

深く息を吸い、悲壮な決意で一歩前に進み出ると、自動ドアがスッと開いた。

そこは存外に明るかった。白い壁と白い天井に守られたその部屋には、二十床ほどのベッドが整然と並んでいて、ベッドとベッドの間は薄紅色のカーテンで仕切られている。看護師に促されて、その一つに横たわってドクターを待っていると、「初めてですか？」隣のベッドからカーテン越しに若い女性の声がした。「ええ、そうです」緊張しながら答えた。「そんなに緊張しなくても大丈夫ですよ」

と言いながら少しだけカーテンを開けて透けるような白い顔をのぞかせたその女性は、思いのほか若く、高校生くらいにしか見えない。手編みの帽子がよく似



若草色の帽子がよく似合っている。
「帽子、可愛いわね」と私が言う

と、その女の子は「ありがとう。抜け毛隠しには見えないでしょう。患者だっておしゃれをしないちゃね」と笑って言った。何気ないその言葉に私はハッとした(そうだ。ここにいる人たちはみな、抗がん剤で髪が抜け落ちてきているのだ。そして私ももうすぐ……)「好きな色はありますか？」女の子はベッド脇に置いてあった布のトートバッグを手に取り、こちらに掲げながら聞いてきた。「もしよければ、編んで差し上げますよ」

私はバッグの中にぎっしり詰まっている毛糸玉の中から、オレンジ色の一玉を選んで彼女に手渡した。「元気が出る色ですね」そう言うと早速、彼女は編み針を取り出して編み始めた。「この帽子ね、『どんぐり帽』って言うんですって。私も初めてこの化学療法室に来た時、先輩の患者さんに編んでいただいたんです」おしゃべりしながらも彼女の手先は、クルクルとリズムカールに動いている。

「私ね、自分の髪が抜け落ちるなんて想像もしてなくて……。抗がん剤治療が始まってしばらくしたある日、鏡の前で髪を梳かしていたら、櫛にごっそりと髪が絡まって、本当にびっくりしました。何が何だか分からなくなつて、もう一度、櫛で梳かしてみると、今度はもつと沢山抜け落ちて、まるで全部の毛根が一瞬にして溶けてなくなつてしまったようで……。抗がん剤には色々な副作用があるけれど、私にはそのどれよりも髪が抜け落ちるのが辛かった。でもその日、惨めな気持ちでここに来た時、あの患者さんが私にこの『どんぐり帽』を

プレゼントしてくれたんです。嬉しかったなあ」

その人はこの部屋に新人が入ってくる度に、「好きな色は？」と聞いてはどんぐり帽を編んでいたのだそう。そのため治療室の中では「どんぐりさん」と呼ばれていたらしい。そして、どんぐりさんが全ての治療を終えた日、女の子は編み針と毛糸玉の入ったトートバッグを引き継いだのだという。二週間後、私がまた点滴のために化学療法室に来ると、その子はすでにベッドに座って編み物をしていたが、私をみつけると、点滴の管が繋がっていない方の手を大きく振って合図を送ってきた。「はい、どうぞ」と手渡された紙袋の中にはオレンジ色のどんぐり帽が入っていた。私は早速それを被り、女の子の隣のベッドに横になった。髪が抜け落ちた二人が、色違いのお揃いの帽子を被り並んで点滴を受ける様子

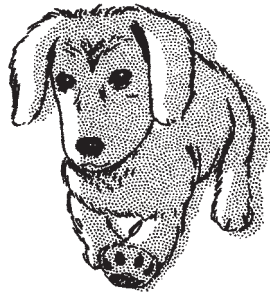
は、健常者から見たら不思議な光景だろうが、私たちは幸せだった。どんぐり帽は頭だけでなく心も温めてくれたのだ。やがて私も女の子からどんぐり帽の編み方を習い、編み針と毛糸玉の入ったトートバッグと共に、大切な任務を引き継ぐことになった。三代目どんぐりさんの襲名である。病気になつてからは何でも人からしてもらえばかりで、社会から取り残されているような後ろ向きな気持ちになつていた私は、こうして誰かの役に立てることが嬉しかった。あれから二十年が過ぎた今でも、底なしの辛さから救い出してくれた女の子と彼女のどんぐり帽のことを思い出す。さなひ日はない。あのトートバッグは今、誰の手元にあるのだろうか。きっと、どんぐりのようにコロコロと患者たちの間を転がりながら、生きる勇気を与え続けているに違いない。(越後文学から転載)

大阪府泉大津市では、国内生産量が日本一の毛布をはじめ二ツト、毛織物など繊維産業が古くから盛んに行われてきました。梅田純子さんが受賞された泉大津市オリアム随筆賞は、そんな「繊維のまち・泉大津」を広く発信していくために創設された「繊維のまちの文学賞」なのです。

忘れ難い嘘

野口 文字

カーテンの陰に隠れて真つ赤な顔で息張る幼児。「ウンチ出たの？」と聞いても必死で首を振る。刑事ドラマなら「嘘をつくな！証拠はあがつてるんだ」と、崖の上で追いつめる場面だ。おしめがなくなかるとれない頃にありがちなエピソードである。



人間は生まれてから死ぬまでに数え切れないほど嘘をつく。幼児の可愛い嘘から始まり、人を傷つける嘘もあればやむを得ない嘘もある。忘れ難い嘘について書いてみようと思う。

私が5歳ぐらいの頃、2歳上の姉が近所の犬に咬まれて大騒ぎになった。足を咬まれたらしく鼠径部のリンパ腺が腫れて大手術になった。手術痕が残り、母が飼い主の家に怒鳴り込んだらしい。私は小さかったので詳細は知らないが「狂犬病だ」とものすごい剣幕で責めたそうだ。

母が亡くなった後で、姉がポツリと告白した。「何もしないのにいきなり咬まれたと言ったけど本当は違うの。私は何もしない犬の尻尾を思い切り踏んづけてしまったの」と。母にはずっと言い出せなかつたという。ずいぶん長い間秘密を抱えて苦しんだようだった。私も、もうひとりの姉にひどいいたずらをしたことがあるからだ。

社内恋愛をしていた姉の相手が転勤になった。だんだん疎遠になり、姉が落ち込んでいるように見えた。彼の筆跡を真似て嘘の手紙を書いたのだ。封を開ける時の姉の嬉しそうな顔を今でも覚えていいる。最低最悪な妹だ。優しい姉は許してくれたが、あの時の自分をまだ許せないでいる。

余録

新内閣の誕生と、急転直下の衆院解散。愛媛の小林さんから感想をいただきました。「自民総裁選の宴が終わわり、衆院選。党利スケジュールのオリパラ、総裁選、臨時国会、解散、衆院選、自民の巧みさにあきれるばかり。当選挙区も、共産、立民の調整がギリギリで整い、立民候補が野党統一候補になり活動中です。先の参院選では全国でも

編集後記

話題になった無所属女性当選でしたが、今回も稀なチャンスと頑張っています。常々思うのですが、人類、いろいろ進歩しながら国同士の最終優劣は武力というのは進歩なし。ひょっとすると昔は一騎打ちなど少ない犠牲で決着をつけていたりするとすれば、今は進歩どころか後退。核廃絶決議にしても、傘の下にあるものの悩ましい立場を毅然と打ち出し、それがゆえに真に願うことを高らかに歌い上げる、過去についての責任や

後悔・反省に基づき、それゆえに求めるものを高く掲げることをなせないのであるかと歯がゆく思います。武力へのアレルギー、武力に関わることは延々と議論が続き、決まらないうのが日本ということは誇るべきことと思います。平和憲法のように、『日本とは』という『国格』を示すことをなぜ避けるのかと感ずります。衆院選前にいただいた一文です。市民感情とかけ離れた今の政治への静かな怒りに共感することしきり。

総選挙の結果を掲載する編集になりました。新潟で立憲で当選した菊田まさ子氏に当落はいずれでも、寄稿をお願いしていました。が、2500票の辛勝、ご主人が投票当日急死した。まさ子氏から葬儀などで原稿は間に合わないかと連絡あり。代わりに陣営の杉井旬氏がまさ子氏のこれまでをまとめていただいた。その新潟の同人誌『越後文学』を紹介された。遠く離れた大阪

の泉大津市の「織維のまちの文学賞」に選ばれた梅田純子氏の《どんぐりコロコロ》を転載させていただきました。当誌には初掲載ですが、車椅子の近正美さんは活動的でどこへでも出かける元教師の方。同じくシンガポールのコロナ事情を報告いただいたしんちゃんも。外国からは惜しまれて去るメルケル首相をドイツから紹介していただいたのは後藤昌三氏。日本では女性の職場進出が遅れ、女性政治家の比率の低さは誰の責任か？七転び八起きで国会に挑戦を続ける井戸まさえ氏は野

党共闘だった。破れたが奮闘記を書いていただき、これも当誌初。護憲・改憲で揺れる現憲法だが憲法25条の生存権誕生の経緯をテレビドラマで観た。考えれば考えるほど25条に大きな意義を感じるので、制定に大きく貢献した社会党鈴木義男さんのお孫さんの油井大三郎教授にお手紙を出し、原稿をお願いした処、義男研究家でもある清水まり子氏を紹介された。送られて来たのは6000字を超え、2回に分けて掲載させていただきましたことにしました。

選挙は筋書きのないドラマ 新潟4区

新潟県議会議員 杉井 ひとし

「人生は筋書きのないドラマ」とよく言われる。「選挙は人生の縮図」という人もいる。そうであるなら、筋書きのないドラマの縮図である選挙戦ほどドラマチックなものはない。

今回の衆院選新潟4区で7期連続当選を果たした菊田真紀子氏（52）は立憲民主党の軌跡はドラマチックだ。そこには感動もあれば、悲劇もある。

菊田氏は祖父が田中角栄元首相の越山会の創設メンバーの一人、父は元新潟県議という政治一家の長女に生まれた。1995年の加茂市議選に全国最年少の25歳でトップ当選、2期目もトップ当選した。

国政初挑戦は00年の衆院選。自由党公認で初出馬したが落選。2度目の挑戦となった03年、民主党公認で初当選した。4年前の衆院



選挙運動中の菊田まき子（黄色はシンボルカラー）

選で、新潟4区は全国注視の「女の戦い」となった。相手は自民公認の金子恵美氏。夫の宮崎謙介議員による「ゲス不倫」で注目を集めた。

一方、菊田氏には希望の党騒動が持ち上がった。所属していた民進党は事実上解党。希望の党と立憲民主党、どちらに行くか決断を迫られた菊田氏は、政見放送もなければポスターやチラシも制限され

る無所属での出馬を選んだ。それ以前の2回の衆院選では金子氏が小選挙区で当選、菊田氏は比例復活だった。無所属は比例復活のない背水の陣。必死で戦った結果、金子氏に大勝。比例復活もできなかった金子氏は政界を引退、タレントに転身した。

自民党が次の公認候補としたのは国定勇人前三条市長だった。11年前の国定氏二期目の三条市長選は、市を二分する激戦となった。菊田氏は国定氏を支援した。そのため反国定派の有力支援者を失うことになったが、菊田氏は覚悟を決めて国定氏を応援し、当選させた。それを踏まえて国定氏も衆院選では菊田氏を応援した。いわばかつての盟友が今回の衆院選で与野党に分かれ、一騎打ちを演じることになった。国定氏は商工業界や建設業界などの保守票を固めることに力を注いだ。

菊田氏は無党派層をターゲットに、徹底した街宣活動を展開した。前回、奏功した野党共闘は今回、さらに進化したし、野党各党が「菊田当選が先決」との認識で比例代表の運動以上に菊田氏の支援に力

を注いでくれた。

10月31日の投開票日 菊田氏をさらに過酷な試験が

菊田氏の夫は外務省経済局審議官飯田慎一氏（54）。東大法学部在学中に外交官試験に合格した外交官で、9年前に結婚。英国公使や米国公使などを歴任した夫は海外勤務が多く、妻は東京・永田町と選挙区の新潟4区を行ったり来たり。一緒に過ごせる時間は限られていたが、メールやラインなどで連絡を取り合ってきた。とくに精神的にも、肉体的にも限界近くまで追い詰められる選挙戦の最中は毎日連絡を取り合い、菊田氏のグチや不満を飯田氏が受け止め、励まし、翌日の活力を引き出してきた。

投票前夜、飯田氏にラインや電話もつながらなかった。疲れて寝たのかと思っていたが、31日になっても連絡が取れない。心配になって赤坂議員宿舎に確認してもらったところ、飯田氏は布団の中で亡くなっていた。くも膜下出血による30日夜の死亡が確認された。

菊田氏は夕方の新幹線で上京。一カ月ぶりに会えた夫はすでに冷たくなっていた。

開票会場では約1000人の支援者が結果を待ったが、候補者本人は不在。飯田氏の死去が報告されると泣き出す女性もいて、会場は重い空気に包まれた。速報も中間段階では国定氏がリード。ますます暗いムードになったが、最後の最後で逆転。238票の僅差の勝利に会場は沸き返った。菊田氏は都内から電話で会場の支援者たちに礼を述べた。「今日、この喜びをみなさんとともに祝うことができなくて、本当に申し訳ありません」と詫びたうえで、「人生とはわからないもので、私は最愛の人を失いました。でも、きっとそれは何か意味のあることで、政治家として私がかれから何を守るべきなのか、何をすべきなのかということ、きつと夫は身をもって教えてくれたのだと思います。いままでも以上に一人ひとりの、すべてのみなさんの命を守るための仕事に全力を尽くしたいと思います」と涙声で語った。支援者も涙を止められない夜となった。

群馬県藤岡市に生まれ、新潟県加茂市で育つ。名前は田中真紀子にちなんで付けられたという。新潟県立加茂高等学校に入学。高校時代はバレー部の主将を務めた。1988年3月、同高校卒業。父親の勧めで同年9月から2年間、中国の黒竜江大学に留学した。1993年8月から、中国語会話教室を経営。衆議員に選ばれてからは無所属の会を経て「立憲民主党・市民クラブ」に入会した。旧立憲民主党と旧国民民主党が合流した立憲民主党へ参加。21年10月衆議院選挙で新潟県内の野党共闘が4勝2敗で勝利した